

卒業生に聞いてみた！

重友 優奈 さん

山梨日日新聞社 デジタル推進局 営業企画部 勤務



山梨英和は自分の個性をフル発揮できる場所



「私立に行くか、公立にするか…」そんなふう迷っていたあの頃。

受験を考えていた私の背中を押してくれたのは、山梨英和に通っていた従姉妹の言葉でした。

「英和はね、公立や他の私立ではできないことが、たくさん経験できるよ」

海外研修、英語にすっかり触れられる授業、そして一人ひとりの個性を大切にしてくれる環境——

「ここなら、自分らしく成長できるかもしれない」そう思っ、私は山梨英和への進学を決めました。

入学前の不安、どうだった？

正直に言うと、女子校って少し不安でした。でも、入学してすぐにその不

安は吹き飛びました。

クラスの友達も、先輩たちも、みんな本当に優しい。先生方はとても親身で、どんなことでも話を聞いてくれる。気づけば、安心して毎日を過ごしていました。

印象的だったエピソード

最初はバスケットボール部に入っていました。でも、文化祭で語学部の英語劇を観たとき、みんなが本当に楽しそう、キラキラしていて…

「私もあんなふうになんか、自分の『好き』を表現したい！」そう思っ、思い切って語学部に移りました。

英和は、やりたいことを応援してくれる学校。途中で部活を変えるのも、先生たちはちゃんと受け止めてくれる。自分の「これがやりたい！」を大切にできる場所です。

先生との関わりから学んだこと

英和の先生って、ただ勉強を教えるだけじゃないんです。

ニュースや社会問題の話をしてくれたり、「これは知っておいてね」と、世界のことを伝えてくれる。

おかげで私も、自分の意見を持つことが、社会の出来事に関心を持つことが、自然にできるようになりました。

毎朝の礼拝の時間

正直、入学前はキリスト教について知らなかったんです。

でも毎朝の礼拝は、自分自身と向き合える大切な時間になりました。心が落ち着いて、「今日も一日がんばろう」って思える、そんな時間でした。

「女子校って、実際どう？」

みんなが本当に個性豊かで魅力的。女子だからこそ、変に気を使わず、自分の個性を思いきり出せるんです。

英和は、そんなふうになんか「自分らしくいられる」場所でした。

進路やキャリアの話

山梨英和には、将来について前向きに考える仲間がたくさんいます。

高校1年生のころから、大学のオープンキャンパスに行っている子もいて、すごく刺激を受けました。

進路で迷っていたとき、先生が私の個性や『好きなこと』を尊重して、いくつもの選択肢と一緒に考えてくれました。

授業以外でも、ジェンダー問題や国際情勢について学ぶ機会もあり、「社会に目を向けることの大切さ」に気づけたのも、英和だったからこそ。

その学びがきっかけで、私は今、新聞社で働いています。

英和の魅力をひとことと言つと？

「ジェットコースター！」

なぜって？

振り返れば、忙しい日々の中にも楽しさがあふれていて、そこには確かな達成感があったから。時には「ワー！」ってなることもあったけど、今では全部が大笑いできることばかり、とにかく楽しい思い出しかありません。

山梨英和中学校・高等学校

〒400-8507 山梨県甲府市愛宕町112

TEL 055-252-6184 (中学) / 055-252-6187 (高校)

■お問い合わせ (入試広報部)

TEL 055-254-1590

学校HP



イベント申込(中学)



イベント申込(高校)



LINE(中学)



LINE(高校)



Instagram

